

松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2020年5月25日 発行

松蔭中学校・高等学校
校長 浅井宣光

苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む(ローマの信徒への手紙 5:3~4)

学校再開に向けて

休校期間中の「オンライン在宅学習」におきましては、当初のアクセス不調などで、大変ご迷惑をおかけしました。兵庫県など3府県の政府緊急事態宣言が解除され、すべての在校生と教職員の居住地域で社会活動が再開されつつあります。お知らせしておりますように、本校も26日から登校日を設けます。また、6月1日よりクラスを分割したうえで半日の短縮授業を開始し、感染症対策を講じながら、新年度の学校活動をスタートさせます。生徒からは早く登校して友達に会いたい、という声の一方で、公共交通機関での登校や、学校での接触や対話など人と人の交わりに対する不安がぬぐい切れない、という保護者の方々からの意見も報告を受けています。慎重を期して再開作業をすすめたと思います。段階的に順次再開させながら、新しい学校生活のスタイルに生徒が無理なく馴染めるようにします。ご理解をいただきますようお願いいたします。学校再開にあたり、①学習の遅れ、②感染予防策、③今後の予定、の3点について、さらに高校3年生は④進学対策や手続き、を含めてご心配のことと存じます。現時点での対応についてお知らせいたします。詳細については各学年より連絡します。

① 学習の遅れ、について。1学期中間考査を中止しましたが、期末考査は7月下旬に実施します。上述のように6月1日からは分散登校による週3日の短縮授業を2週間行い、6月15日より、毎日授業を実施する予定です。その後、教室や校内での生徒動線や様子を観察し、通常形態での授業に安全に移行するタイミングをはかります。また、夏休みを短縮し、休校期間中の授業を補います。現時点では、1学期終業式は7月31日、2学期始業式は8月18日とします。成績については、休校期間中の課題や今後の授業および提出課題、期末考査(7月下旬予定)の成績により評価します。オンライン在宅学習(5月実施分)の出席(Classiの「見ました」チェック)の記録は、評価の対象となりませんが、登校日以降に提出を求められている課題については、評価の対象とします。

② 感染予防策、については、文部科学省の通達にもとづき「学校再開ガイドライン」を設け、全教職員で確認しています。下記はガイドラインの一部ですが、授業その他の全ての学校活動において担当者は、常に感染予防に留意しつつ取り組みます。生徒には、登下校および学校生活ではいつも「自分自身と家族の健康、命を守る」ことを意識するよう指導します。

○校内の教室、体育館その他施設、設備の利用について

- ・密閉、密集、密接を回避し、2方向以上の窓、扉の開放による常時換気を行う。
- ・講堂は、常時換気のうえで1学年の生徒のみの集会または保護者のみの集会で使用可とする。
- ・エアコン(冷房)運転時も、原則として開放換気を行う。猛暑時も窓、扉の一部を開放し、休憩時間に全開し換気する。

○生徒行動の抑制の指導

- ・密集、密接を避ける生活指導の徹底。対話時の距離や大きな声を出さない。

○衛生行動の徹底の指導

- ・手洗い、マスク着用、顔を触らないこと。特別教室、選択教室や共用箇所やトイレ利用後は特に注意する。

○教職員行動の配慮

- ・飛沫防止のためマスクの常時着用と共用箇所使用後の手洗い、手指の消毒励行。
- ・授業・HR・面談等で生徒指導や、対話時の距離の留意。
- ・昼食(マスクを外しての飲食するなど)時などの際、飛沫防止に注意し、食事は職員室自席でとらずエセルホール等でとる。
- ・授業担当者のフェイスシールド着用は義務付けないが、保健室では感染予防のため着用する場合がある。
- ・出勤前の検温と健康観察記録。

○授業、部活動その他行事について

- ・「文部科学省」「兵庫県」の通達、要請にもとづき感染予防策を行い、各教科で授業内容、指導法について確認する。
生徒会活動(部活動含む)については、生徒部と顧問が活動内容を確認する。授業、部活動において、発声による飛沫飛散や発汗を伴う内容については、実施する場所、生徒どうしの距離について、十分考慮したうえで指導する。
- ・教室、特別教室、選択教室などは使用後、共用箇所を消毒する。

③今後の予定については、部活動の再開を6月15日以降とし、文化部の各部の活動発表会については、実施時期など条件を設けたうえで認める方向で検討しています。夏休みは8月1日から8月17日までとします。夏のニュージーランドおよび韓国での海外異文化研修プログラム、中学1年生の山のキャンプは中止します。なお、海外研修については、冬休みのフィリピン、セブ島研修も中止します。2学期の体育祭(9月)、中3および高2の修学旅行(10月)、バザー(11月)については、体育祭は1学期末までに、修学旅行は8月末までに判断します。バザーは、飲食を伴い、多数の方が来校されるイベントですので、今年度については中止することにしました。例年、PTA 売店等で保護者の皆様にはご協力いただいておりますが、残念ながらこのように判断しました。

④高校3年生の進学対策や手続き等の関連では、6月より各大学のオンライン進学説明会、実力テストの実施を予定しています。進路面談(三者面談)も早期に行う予定です。今後、文部科学省ならびに各大学より、入試関係のスケジュールについて連絡が入りますが、進路指導部と学年団より情報をお伝えし、混乱が生じないようにします。

「第1号を責めない」

「第1号を責めない。」先月中頃のニュースで、岩手県知事のこの発言が報道されてきました。「(PCR 検査)陽性者には、お見舞いの言葉を贈ったり、優しく接してあげてほしい。誰も第1号の可能性はある」という記者会見でのコメントでした。感染者やその家族の個人情報、写真などをネットに掲載したり、虚偽の内容を書き込んだりする例が、後を絶たないようです。岩手県は国内で唯一感染者が出ていません(5月15日時点)が、知事は今後、万一感染者が出た場合を想定し、その人の人権は、最大限に尊重され、守られなければならないという考えも発言の背景にあったと思います。

緊急事態宣言が解除され、社会活動が徐々に再開されます。「感染させない」「感染しない」の意識のもとで、人の交流が行われます。万一、罹患者発生の場合においても、人権侵害やいじめにつながるようなことが決して起こらないよう、全力をあげて取り組む必要があります。「感染者とその家族を責めない」ことは、社会常識として念頭に置きたいと考えます。

気になる会話を耳にしました。近所の小学生が、昆虫を見て「コロナで死ぬ?」と話すのを耳にしました。「コロナ」の語は、これから様々な場面で使われることでしょう。「コロナ後の時代」「コロナと共存する社会」に加え、「コロナ世代」云々と、メディアはその表現が適切かどうか、判断を置き去りにして報じ続けています。社会や経済に甚大なダメージがあり、学校生活も大きな制約を受けているわけですから、病気や感染予防にのみ言葉が留まらないことは当然でしょう。しかし、日常で何気ない情景をコロナ感染に結び付ける、いわば「コロナの“言葉遊び”」は、控えたいものです。登校日や授業開始により友人どうしのやり取りや、家族の会話でも学校の話が多くなることでしょう。発熱や風邪症状、体調不良の人に対して「コロナじゃないの?」と言ったり、困った時に「コロナで死んでしまう」などと、冗談交じりであっても口に出したりすることは避けたいものです。「感染者とその家族を責めない」「コロナの“言葉遊び”をしない」この2点を学校再開にあたり、強く訴えたいと思います。

手作りガーゼマスクの配布について

当面の間、生徒も教職員も校内ではマスクを着用します。国が全戸に配布する布製マスクは、学校にも生徒、教職員人数分が配布されます。しかし、不良品が多く、その大半は妊婦向けに配布されたマスクで、配布済のマスク50万枚のうち、約1900枚に汚れや虫、髪の毛が混入していたとの報道がありました。本校にも先月末時点で、国配布のマスクの第一便が届きましたが、現在、1枚ずつ検品作業を行っています。不良品がないことを確認した後に配布する予定です。登校日には、その代わりとして学校で製作したマスクを配布します。休校期間中、家庭科や情報科、その他の教科の助手の方々の協力を得て、ガーゼマスクを製作しました。ビニール袋に封入する際などには衛生管理を徹底し、配布準備を行いました。

オンライン在宅学習にかかる「通信料・学習環境整備支援金」のお知らせ

5月11日より「オンライン在宅学習」を実施しています。開始後数日間はアクセス状態が大変悪く、ご迷惑をおかけいたしました。その後は、稼働状態がかなり改善され、順調な取り組みが行われたようです。また、高校や中学の一部クラスではビデオ会議アプリ（Zoom、Teams）を利用した朝礼、ホームルーム、授業を実施していますが、5月末までには全学年で利用できるよう準備中です。今後、感染の第2波、第3波が予測され、再度の休校の可能性も否定できません。万が一にそなえ、これまでのオンラインによる学びのシステムに改善を加えて、準備をしておきます。このたび、オンラインに要する通信料や学習環境整備のための支援の制度を決定しました。学校ホームページに掲載していますが、生徒1名につき一律 10,000 円の通信費補助を行います。詳細につきましては、6月以降、メルポコおよびホームページでお知らせします。この措置は、併設大学が実施する遠隔授業にかかる「学習環境整備支援金」と同様の趣旨で、学院として、



<Zoom でクラス朝礼を実施しています。(高2)>

中学、高校の生徒を対象に、インターネット通信費等の一部を補助するものです。

PTA 活動など

PTA については、休校の長期化により活動を休止していましたが、今週、本部役員の信任投票用紙の回収を行います。その後、現在の学校状況のもとでの PTA 活動について検討に入る予定です。PTA 活動へのご要望などございましたら、本部役員の確定までは、担当の番場副校長まで、確定後は本部役員の方々までお願いします。また、PTA 学年集会（学年ごとの保護者集会）ならびにクラス集会（クラスごとの保護者会）の開催について、日程調整をしています。今後も PTA 活動へのご協力をお願いいたします。